

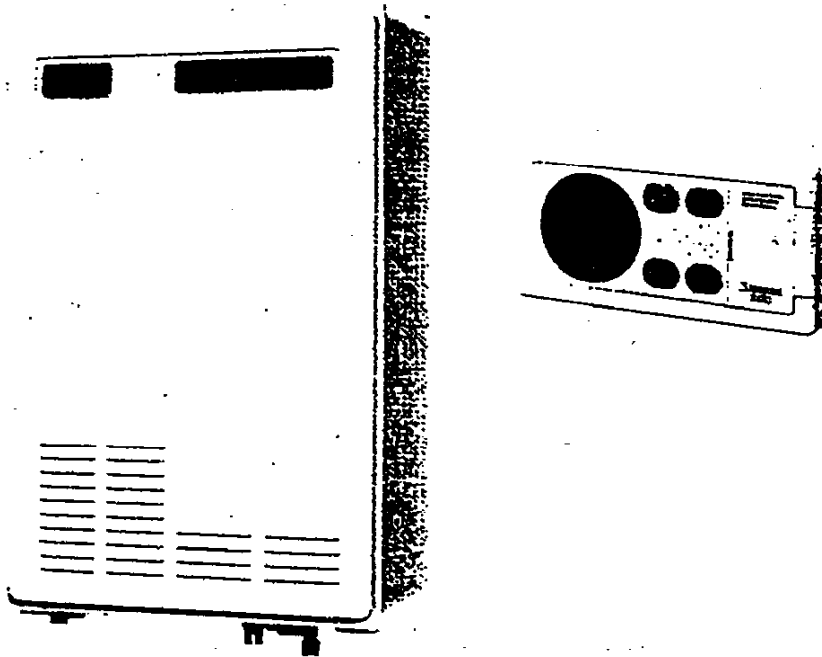
取扱説明書	AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	3	3	2	1.30.11
	AT-243RFA-A	<AT-243RFA-A>	5	4	0	6	3	3	1	
	AT-243FFA	<AT-243FFA>	5	4	0	1	3	3	8	
	AT-243FFA-A	<AT-243FFA-A>	5	4	0	3	3	3	7	

保証書付

●AT-243RFA・AT-243FFA

品名	機器コード	型式名	設置方式
AT-243RFA	540 4332	AT-243RFA	屋外用
AT-243FFA	540 1338	AT-243FFA	屋内用

ガス給湯暖房機



このたびはガス給湯暖房機をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- この取扱説明書の29ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。

 TOKYO GAS

AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	3	3	2
AT-243RFA-A	<AT-243RFA-A>	5	4	0	6	3	3	2
AT-243FFA	<AT-243FFA>	5	4	0	1	3	3	1
AT-243FFA-A	<AT-243FFA-A>	5	4	0	3	3	3	1

13021

特長・機能の紹介

もくじ／特長・機能の紹介

- 給湯の立ち上がりやすやく安定出湯
お湯はり時間もスピードアップ！
マイコンによる電子コントロール方式で、すぐに希望の湯温になりしかも安定した湯温が得られます。
- 温度調節はワンタッチ
湯かげん調節はお浴槽からワンタッチ！
希望の湯温が得られる電子コントロール式です。
(※設定湯温は約38℃～約47℃、約60℃)
- 水から自動沸き上げ
浴槽うに水がある場合、風呂(浴室)リモコンで自動沸き上げができます。
- 給湯・暖房・風呂が同時で使える2缶3水路方式
- 快適暖房
暖房は湯水利用で、お部屋の空気を汚しません。
- 暖房水の自動補給機能付
暖房水が減耗などにより少なくなると、自動的に補給され手間いらず。

もくじ

- 特長・機能の紹介..... 1
- 必ずお守りください..... 2
- 各部の名前と扱いかた..... 5
- 初めてお使いいただくときに.....10
- 使用方法.....12
- 凍結予防のしかた.....17
- 点検・お手入れ.....19
- 故障かな?と思ったら.....21
- 仕様.....25
- 保管とアフターサービス.....27
- 保証書.....29

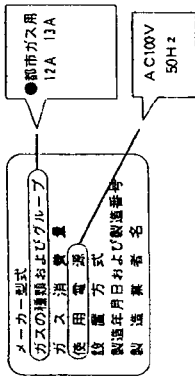
AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	0	3	2
AT-243RFA-A	<AT-243RFA-A>	5	4	0	0	0	0	0
AT-243FFA	<AT-243FFA>	5	4	0	1	0	0	0
AT-243FFA-A	<AT-243FFA-A>	5	4	0	0	0	0	0

13031

必ずお守りください

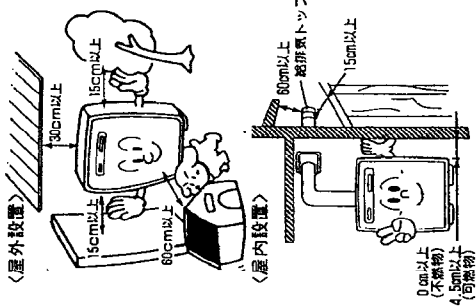
安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。 ●使用ガス・使用電源についてのご注意

- ガスの種類を確認してください。
正面右下側に貼ってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかを必ずご確認ください。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 電圧の電圧と周波数を確認してください。
銘板に表示してある電圧(電圧・周波数)とお宅の電圧の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。
- 指定されたときにも、ガスと電源を必ず確かめてください。



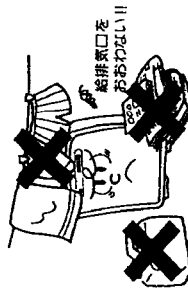
●火災予防のために

- 壁や可燃物から十分離れて
いる場所で！



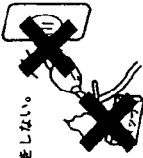
●使用上の注意

- 給湯は
台所・シャワー・洗面所・浴槽以外には使用しないでください。
- 市販の補助用具は
この機器の付属品・補助用具以外は使用しないでください。
- 火傷にご注意
使用中や消火直後は、排気口が高温のため絶対に手を触れないでください。
- 健浴剤・洗剤について
健浴剤・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となりますので、健浴剤等の注意文を十分ご参照ください。



●ガス事故防止のために

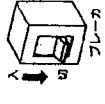
- 燃焼状態の確認
点火、消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを、メーターモニターまたは風呂リモコンの燃焼表示を確認してください。
- 万一ガスが漏れたときは
すべての部屋の扉が閉まるまでの間、
●火をつけない。
●電気器具のスイッチの「入・切」をしない。
●電源プラグの抜き差しをしない。



必ずお守りください

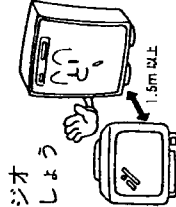
■はげしい雷のときは

使用を中止し分電盤のアレキアを切ってください。



■テレビやラジオとは離しましょう

電波の乱れによる映像の乱れや雑音の防止のため。



■飲用にお使いのときは

器内に長時間たまった水は、飲用または調理に用いないでください。

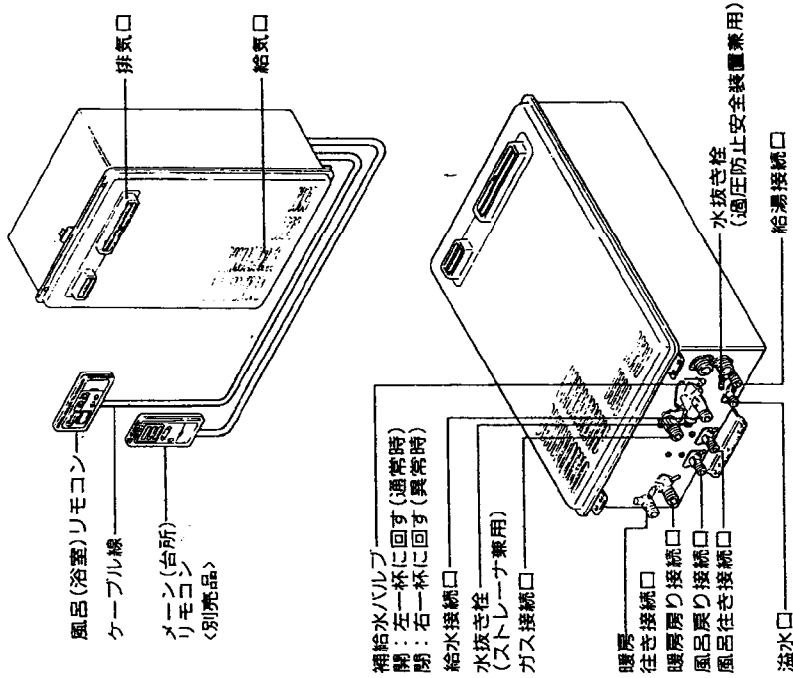


AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	0	3	3	2
AT-243RFA A	<AT-243RFA A>	4	0	0	6	0	0	3	2
AT-243FFA	<AT-243FFA>	5	4	0	1	0	0	3	2
AT-243FFA A	<AT-243FFA A>	4	0	0	0	0	0	3	2

13041

各部の名前と扱いかた

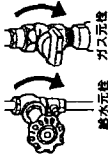
● 外観・構造



● 凍結にご注意
冬期は暖かい地方でも急に寒波のため、機器内の水が凍り機器が破損することがあります。(P.17参照)

● 異常時の処置は
異常燃焼、臭気、異常音などを感したときや、地震、火災のときは、あわてず水の処置をし、お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスに連絡してください。

- 1 給湯栓を閉める
- 2 給水元栓とガス元栓を閉める
- 3 お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスへ



● 停電がおこったら
• 停電の時は給湯栓を閉めてください。
• 再通電時は時刻表示が「00」になります。(別売品のメーコンリモコンを取り付けた場合) 現在時刻設定・給湯温度設定・ふろ温度設定を行ってからお使いください。

取扱説明書

AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	3	3	2
AT-243RFA A	<AT-243RFA A>	5	4	0	6	3	3	2
AT-243FFA	<AT-243FFA>	5	4	0	1	3	3	2
AT-243FFA A	<AT-243FFA A>	5	4	0	3	3	3	2

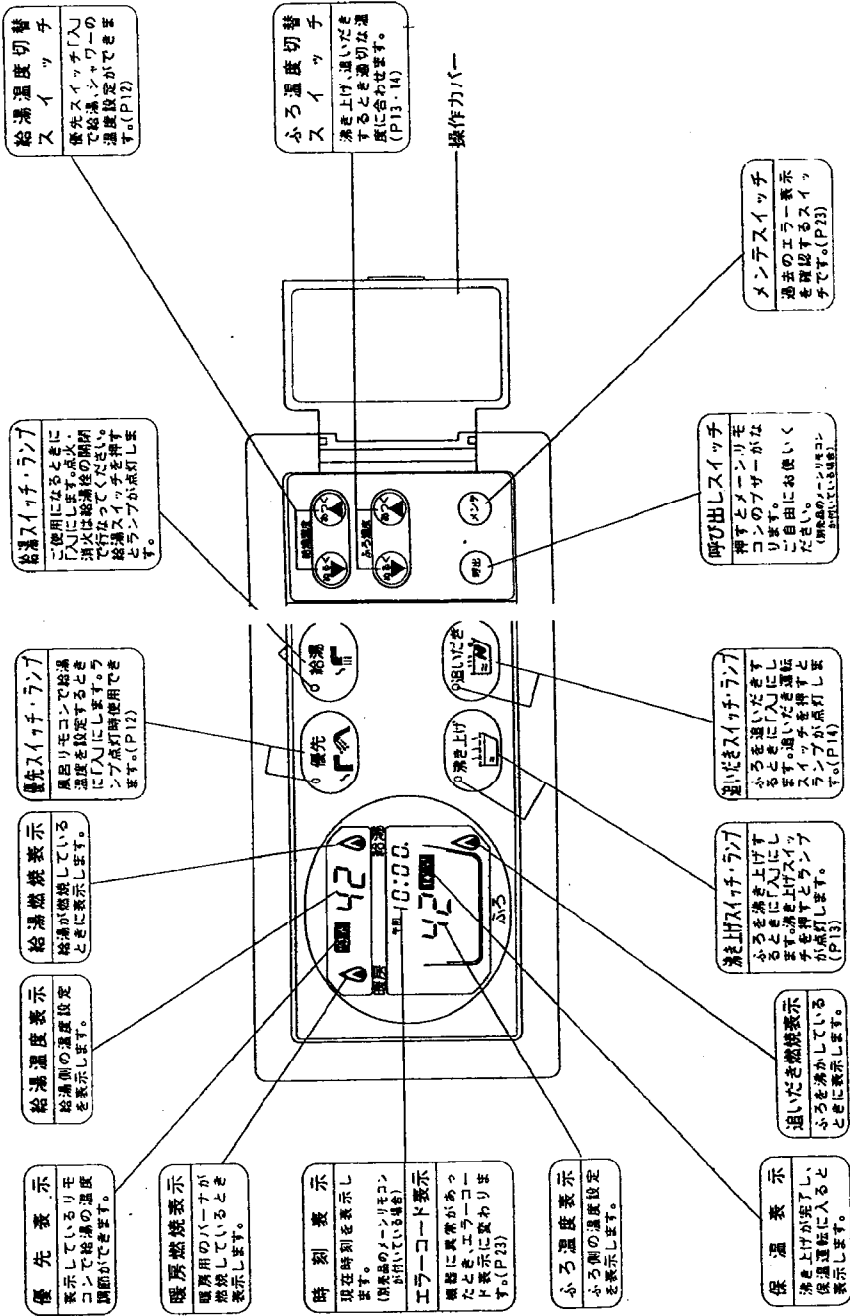
13051

各部の名前と扱い

各部の名前と扱い

●風呂(浴室)リモコン

●下記画面表示は説明のため全周表示したものです。実際の運転のときは、該当部分が表示されます。



取扱説明書

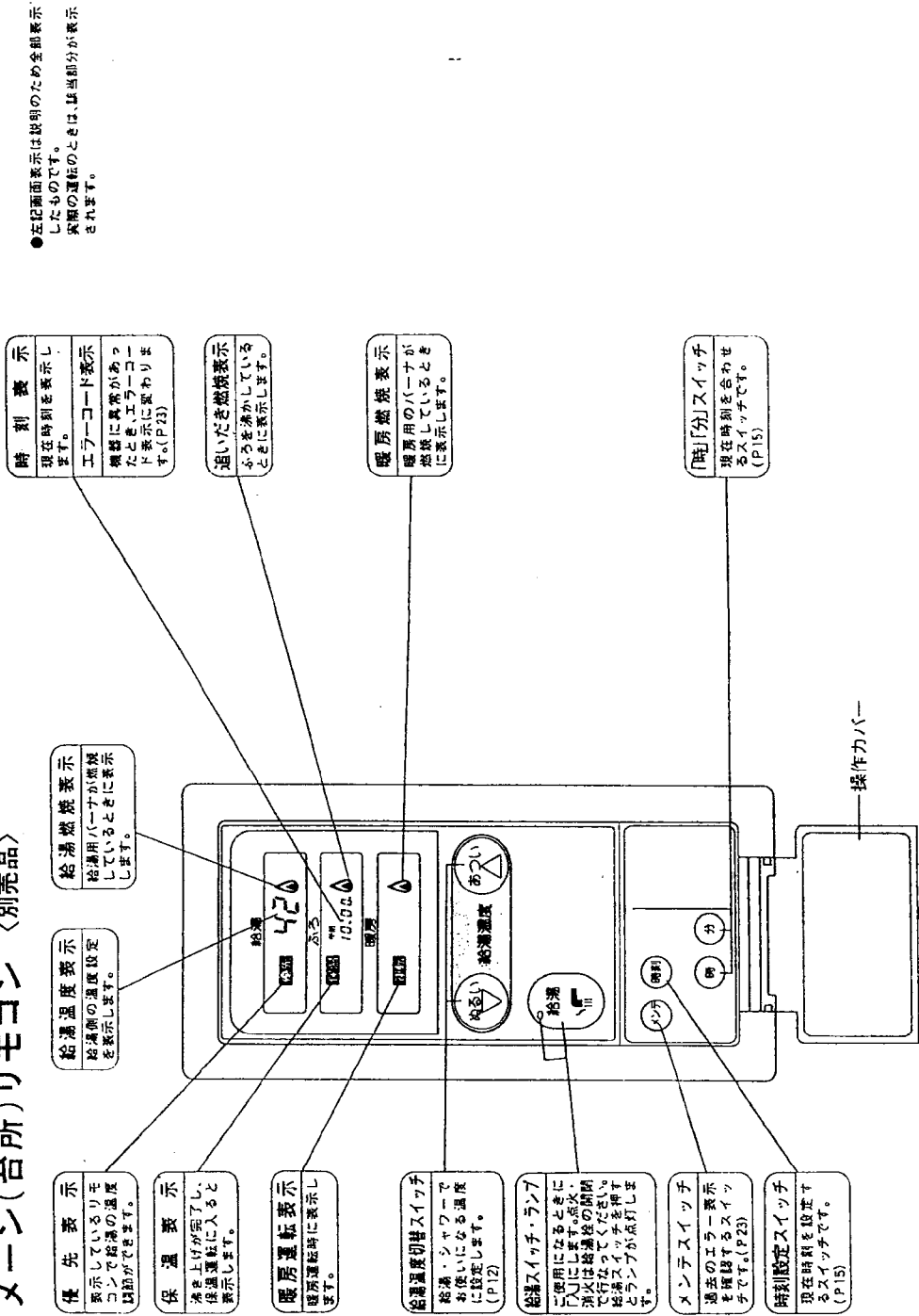
AT-243RFA <AT-243RFA>
 AT-243RFA-A <AT-243RFA-A>
 AT-243FFA <AT-243FFA>
 AT-243FFA-A <AT-243FFA-A>

5 4 0 4 3 3 2
 5 4 0 6 3 3 1
 5 4 0 1 3 3 8
 5 4 0 5 3 3 7

13061



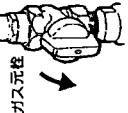
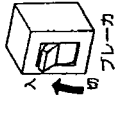
各部の名前と扱いかた

●メイン(台所)リモコン <別売品>



初めてお使いいただくときに

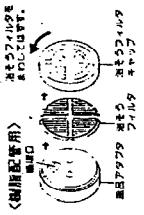
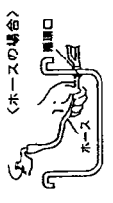
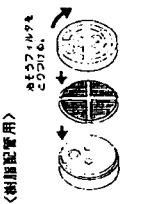
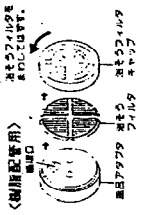
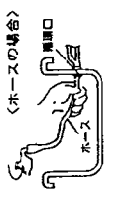
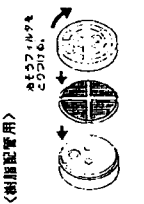
●ご使用前の準備と確認

- ① 給水元栓を全開にする
 
- ② 給湯栓を開け、水の出ることを確認し閉める
 
- ③ ガス元栓を全開にする
 
- ④ 機器用のブレーカを「入」にする
 

初めてお使いいただくときに

5 ポンプへ呼び水をす

初めてお使いになるときは、凍結予防のための水抜きを行った後は、次の手順で呼び水をしてください。

<p>1. 浴そうのフィルタを少し回しながら手前にひっぱって外す。</p>  <p>浴そうフィルタを少し回して外す。 浴そうフィルタキャップ</p>	<p>2. ホース又はシャワーホースを洗濯口に挿し、周囲より水が連続して出るまで呼び水をす。</p>  <p>ホース 洗濯口</p>	<p>3. 浴そうフィルタをよとのように取り付ける。(シャワーヘッドを元通りにする。)</p>  <p>浴そうフィルタ シャワーヘッド</p>
<p>浴そうフィルタを少し回して外す。 浴そうフィルタキャップ</p> 	<p>ホース 洗濯口</p> 	<p>浴そうフィルタをよとのように取り付ける。(シャワーヘッドを元通りにする。)</p> 

6 時刻設定をする (別売品のメーンリモコンが併用している場合)

P15に従って時刻を合わせます。

取扱説明書	AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	3	3	2
	AT-243RFA-A	<AT-243RFA-A>	0	4	0	6	3	3	
	AT-243FFA	<AT-243FFA>	5	4	0	1	3	3	
	AT-243FFA-A	<AT-243FFA-A>	5	4	0	3	3	3	

13071

AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	2
AT-243RFA A	<AT-243RFA A>	5	4	0	3	3
AT-243FFA	<AT-243FFA>	6	4	0	3	8
AT-243FFA A	<AT-243FFA A>	6	4	0	3	7

13081

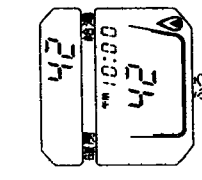
沸き上げのしかた

使用方法

使用方法 給湯のしかた / 沸き上げのしかた

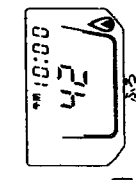
浴そうに水(または湯)があるとき、沸き上げのしかたを使用します。

- 浴そうの風呂アダプターより10cm以上水が入っていることを確認してから操作してください。
- 沸き上げで使用する場合は、設定したふろ温度に沸き上がると自動的に消火し、保温運転に入ります。
- 保温運転中は、10分間ポンプを運転して湯温を維持し、ぬるい場合は自動的に設定温度まで沸き上げます。



1 沸き上げスイッチを押す

- 沸き上げランプが点灯し、沸き上げに入ります。
- エラーコード表示「113」が表示する場合は、沸き上げスイッチを「切」にし、再度「入」にします。



2 ふろ温度を設定する

- 約38℃～約60℃の間で調節できます。



3 沸き上げスイッチを押す

- 「設定」表示と、沸き上げランプが消えます。

ご注意

- 入浴時には必ず浴そうの湯をかき混ぜて湯温を確かめてください。
- 沸き上げ中や通いだけ湯、浴そうの風呂アダプターよりエアが入ることがありますが、異常ではありません。

1 給湯スイッチを押す

風呂リモコン・メニューリモコンのどちらからの給湯スイッチを押す。最初に押されたリモコンに「設定」が表示されます。

2 温度を調節する

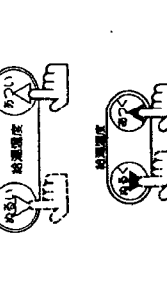
給湯温度切替スイッチを押して必ず「設定」表示を確認してから温度の調節をします。優先表示がされてないリモコンでは温度調節はできません。

<メニューリモコン(別売品)で調節する場合>

- お好みの温度に調節します。
- メニューリモコンの「設定」表示が消えている時は風呂リモコンの優先スイッチを押します。

<風呂リモコンで調節する場合>

- 操作カバールームを開け、お好みの温度に調節します。
- 風呂リモコンの「設定」表示が消えているときは風呂リモコンの優先スイッチを押します。



3 給湯栓を開ける

- 給湯側の「開」が表示し、お湯が出ます。
- エラーコード表示「111」が表示している場合は、一度給湯栓を閉め、しばらく待った後、開栓します。

4 給湯栓を閉める

- バーナが消火し、給湯側の「閉」が表示します。

ご注意

- 停電または、電源を「入」「切」したあとに運転スイッチを入れると運転設定は「入」になります。
- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にはかけずに、手で湯温を確かめてからお使いください。
- 夏期など水温が高くなり、「給湯温度切替スイッチ」を「切」にセットしても熱い場合、湯量が多く出してお使いください。
- 給湯栓を閉りすぎた場合(約2分以下)、バーナの火は消えるようになっていきます。



AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	3	2
AT-243RFA-A	<AT-243RFA-A>	5	4	0	6	3	2
AT-243FFA	<AT-243FFA>	5	4	0	1	3	3
AT-243FFA-A	<AT-243FFA-A>	5	4	0	3	3	3

13101

使用方式 暖房のしかた / 凍結予防のしかた

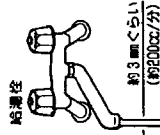
凍結予防のしかた (細かい他は全てご使用のお客様も必ずお読みください。)

- 凍結すると機器が故障したり配管が破損する恐れがあります。(凍結)
- 外気温が0℃近くになると凍結予防ヒータや暖房放熱器が作動して凍結予防を行います。絶対に分電盤のブレーカを切らないでください。

給湯・ふろ

外気温が極寒に低くなりますと、凍結予防ヒータだけでは不十分です。このような場合は、次の方法を行なってください。

方法 1. 給湯栓から水を流す

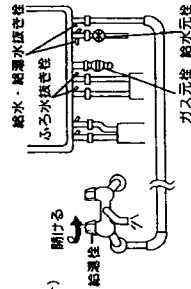


- 1 メーンリモコンの給湯スイッチまたは、風呂リモコンの給湯スイッチを切る。

- 2 給湯栓を開ける。

方法 2. 水抜きをする

(長期間不在の場合、または非常に冷えこみの厳しいとき。)



- 1 浴そうの水を排水する。
- 2 ガス元栓を閉める。(長期間不在の場合) 開ける
- 3 給水元栓を開ける。
- 4 給湯栓を開ける。
- 5 シャワーを床面まで下げる。
- 6 追っただきスイッチを「入」にする。
[浴そうの風呂アダプターより水が出ることを確認する。]
- 7 水抜き栓を開ける。(4箇所)

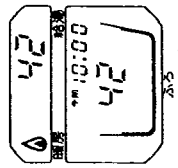
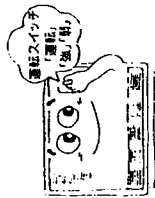
使用方式 暖房のしかた

- 1 運転
 - 放熱器およびシステムコントローラの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

※メーンリモコンは別売品です。

1 放熱器の運転スイッチを入れる

- 風呂リモコンの「△」が表示され暖房運転をはじめます。
- メーンリモコンの「運転」と「△」が表示されます。

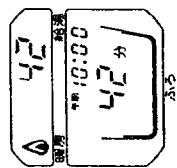
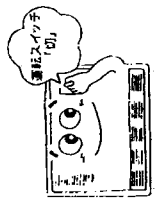


- 風呂リモコンのエラーコード表示「113」が表示している場合、すべての放熱器を「切」にし、しばらく待ってから放熱器を「入」にしてください。

2 停止

放熱器の運転スイッチを切る

- 風呂リモコンの「△」が消えます。
- メーンリモコンの「運転」と「△」が消えます。



運転スイッチはゆっくりと操作してください。急に「切」にすると「コトン」という音がすることがあります。

取扱説明書

AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	0	3	2
AT-243RFA A	<AT-243RFA A>	0	4	0	6	0	3	2
AT-243FFA	<AT-243FFA>	0	4	0	1	0	3	2
AT-243FFA A	<AT-243FFA A>	0	4	0	3	0	3	2

点検・お手入れ

●点検・お手入れの際のご注意

- 点検・お手入れの前には、必ずガス元栓、給水元栓を閉じ、運転スイッチを「切」にして電源線が冷えてから行ってください。
- 機器の前後などは、はずさないでください。
(燃焼及びリモコンは絶対に分解しないでください。)

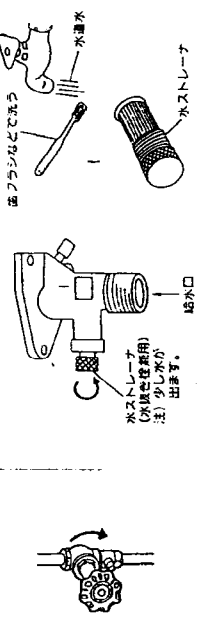
●点検

- 機器の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか？
- 排気口や給気口をふさいでいませんか？

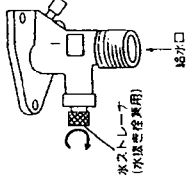
●お手入れの方法

- 水ストレーナの掃除は、次の要領で行なってください。

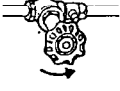
1. 給水元栓を開める
2. 給水接続口にある水ストレーナをはずす
3. 水ストレーナを洗う



4. 水ストレーナを
もとにもどす



5. 給水元栓を開ける



凍結して水が出ないとき

メーソリモコンの給湯スイッチまたは風呂リモコンの給湯スイッチを「切」にし給湯栓を開け、水が出るまで待つてからお使いください。

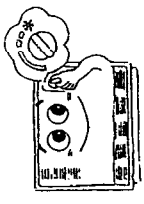
水抜き後の使用方法

- ①水抜き栓を開める。(4ヶ所)
※給湯バルブは閉めないでください。
- ②給水元栓を開ける。
- ③給湯栓から水が出ることを確認し給湯栓を閉める。
- ④ガス元栓を開ける。
- ⑤はページの「使用方法」に従ってお使いください。

暖房

- 冬期外気温が0℃近くになりますと機器や温水回路内の水が凍結し、破損することがありますので自動的に燃焼して凍結を予防します。
- また寒い時には、次の操作をお願いします。

すべての放熱器の運転スイッチを「卒」にする



凍結したとき

- 凍結した場合、ガス元栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま使われますと機器に異常が生じる場合があります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 機器や配管が破損しますと、重額修理費用がかかる場合があります。(有料)

凍結予防のしかた／点検・お手入れ

凍結予防のしかた

故障かな?と思ったら

2 次のような場合は故障ではありません。

現象	説明
寒い日に排気口から濃気がでる。	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするため5分間は回転しています。
給湯性を絞るとお湯が白くなる。	水の中の空気が分離して気泡うと自動的に火が消えるようになっています。
長時間給湯を使っていると火が消える。	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになります。
給湯性を急に止めるとゴツンと音がすることがある。	給水パイプに逆止弁を取り付けると、音がする場合がありますが、水が急に止まるために発生する音で異常ではありません。

3 故障・異常の見分け方・処置方法

ご使用中に、不具合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

現象	原因	処置方法
プレーカが「入」になっていない	●	プレーカを「入」にする
ガス元栓の開き不十分	△	ガス元栓を全開にする
配管内に空気が残っている	△	点火操作を繰り返す
給水元栓の開き不十分	△	給湯性をいったん閉めてから給水元栓を全開にする
給水元栓の閉まり	△	詰まり除去または点検を依頼する
水ストレーナの詰まり	△	使用をいったん中止する
断水している	●	解消するまで使用を中止する
凍結している	●	凍結するまで使用を中止する
給湯性の開き不十分	△	給湯性を全開にする

故障かな?と思ったら

4 エラーコード表示について

この機器には、不具合が生じたときにその原因をエラーコードで知らせる機能があります。下表のエラーコードの表示に記した処置を行なってください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したためです。	給湯性を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したためです。	遠いときスイッチ(または沸き上げスイッチ)を押しなおしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯性を「開」にして再度「閉」にしてください。
721	給湯側の回路に異常が生じたためです。	
113	ふろ側及び暖房側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、遠いときスイッチ(または沸き上げスイッチ)を押しなおしてください。または、すべての放熱器をいったん「切」にし、しばらくまってから「入」にしてください。
723	ふろ側及び暖房側の回路に異常が生じたためです。	
632	浴槽に水が入っていない状態で遠いとき(または沸き上げ)運転をしたためです。	遠いとき(または沸き上げ)スイッチを「切」にして浴槽に水を入れてから再度「入」にしてください。

上記以外の表示がでる場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再操作してください。

取扱説明書

AT-243RFA <AT-243RFA>
 AT-243RFA-A <AT-243RFA-A>
 AT-243FFA <AT-243FFA>
 AT-243FFA-A <AT-243FFA-A>

5 4 0 4 3 2
 0 0 0 0 0 0
 1 3 3 3 7
 1 3 1 3 1

仕様

保守とアフターサービス

仕様／保守とアフターサービス

使用ガス グループ	型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				標準出力(kcal/h)	
		全ガス消費量	総湯ガス消費量	暖房ガス消費量	暖房	能力最大時	種類
都市ガス用	AT-243RFA	38,900	30,100	11,200	24,000 (16号)	7,000	9,000
	AT-243FFA	36,200	28,000	10,400	22,400 (14.9号)	7,000	8,400
		都市ガス用3A (15.0)		都市ガス用12A (14.9)			
出湯能力(l/min) (出力大)		水温±25℃上昇 (15.0)		水温±40℃上昇 (10.0)		9.3	

● 給湯能力の()内は、水温±25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

● 長期間使用しない場合

● 必ずガス元栓・給水元栓を閉め、各リモコンおよび、放熱器のすべてのスイッチを「切」にし分電盤のブレーカを「切」にして、凍結予防の処置を行なってください。

1 サービスを依頼されるときは

- 必ず21～24ページ(図面)を参照の上、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または近くの東京ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご氏名・ご住所・電話番号・通番
 2. 品名 AT-243RFA・AT-243FFA
 3. 故障または異常内容(エラーコードの表示番号及び故障または異常内容をできるだけ詳しく)
 4. 訪問希望日

2 保証について

- 故障発生時の29ページが保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証の内容をよくお読みの上、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

3 補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後10年です。

4 転居または機器を移設される場合

- ガスの機器が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増設などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの東京ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きくなるような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの悪臭や運転音が隣家の窓や扉に伝わるような場所をお避けください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

5 アフターサービス等についてわからないとき

- 販売店またはお近くの東京ガス(営業第一営業区参照)にお問い合わせください。

6 保守契約制度

- 保守契約制度(有料)に加入いただく、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店か、お近くの東京ガスにご相談ください。

取扱説明書

AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	1	3	1	5	1
AT-243RFA-A	<AT-243RFA-A>	5	4	0	4	1	3	1	5	1
AT-243FFA	<AT-243FFA>	5	4	0	4	1	3	1	5	1
AT-243FFA-A	<AT-243FFA-A>	5	4	0	4	1	3	1	5	1

保証書

型式名	AT-243RFA / AT-243FFA
品名	AT-243RFA / AT-243FFA

上記機器をお買い上げいただきましたこととします。この保証書は東京ガス供給区域内において専用ガス用としてご使用になる場合、本保証書記載内容で専用機器をお約束するものです。

- 記
- 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし機器本体を対象とします。機器本体は対象外です。
 - 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはよりの東京ガスへお申し出ください。
 - 万一修理が必要になりました場合には本保証をお断りください。
 - 保証期間中でありましても本保証には各種特約が適用されます。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、取替による場合は、その取付場所により保証が適用されません。
 - お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡をいただき修理を依頼してください。
 - 本保証書の写しを大切に保管してください。

保証履行者 東京ガス株式会社 東京ガス株式会社 東京ガス株式会社
 〒100-8385 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03(3433)2111

保証責任者 松下電機産業株式会社
 〒100-8385 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話 03(3433)2111

取扱説明書	AT-243RFA	<AT-243RFA>	5	4	0	4	3	3	2	13161
	AT-243RFA-A	<AT-243RFA-A>	6	4	0	6	3	3	1	
	AT-243FFA	<AT-243FFA>	5	4	0	1	3	3	8	
	AT-243FFA-A	<AT-243FFA-A>	5	4	0	3	3	3	7	

年月日	年	月	日
姓	名	姓	名
住	所	住	所
電	話	番	号

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
住所			
電話番号			

- お客様へ
- この保証書をお受取りになる時は販売年月日、販売店名、お客様の記入してあることを確認してください。
 - 本保証書は有効な限り、お客様の記入した内容で販売された日付に限り有効です。
 - 本保証書は、保証期間満了後、お客様の住所変更により、保証期間が延長されることはありません。
 - この保証書は、お客様の住所変更により、保証期間が延長されるものではありません。

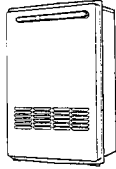
機器コード
540433213171

PL法対応

取扱説明書（別冊）

「安全上のご注意」

ガス給湯暖房機



ご使用前に「取扱説明書」及びこの取扱説明書（別冊）をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

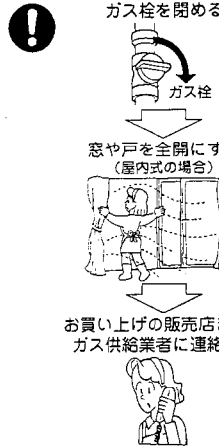
危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが生ずる可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

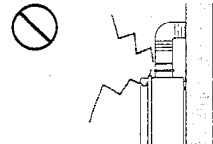
危険

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店へ連絡する



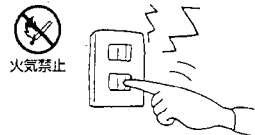
そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない（給排気筒使用の場合）

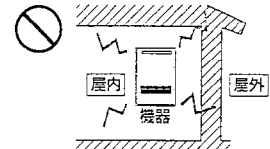


燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

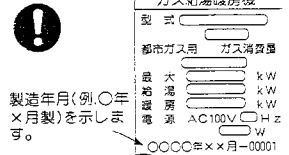
■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたら電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



■屋内に設置しない（屋外式の場合）



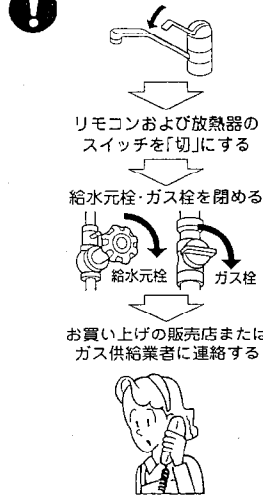
■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する



他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

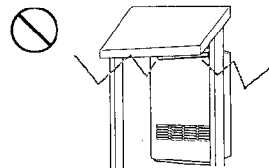
警告

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う
給湯栓を閉める

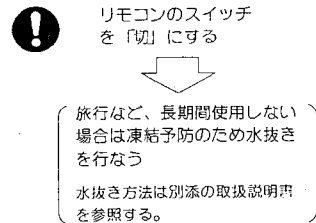


そのままにしておくと、火災の原因となります。

■給排気口（トップ）をおおわない

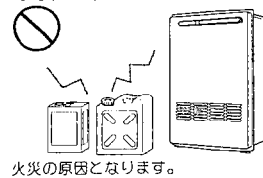


■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、リモコンのスイッチを「切」にする



ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

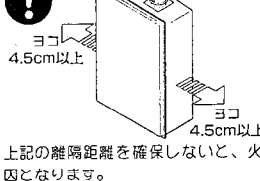
■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない



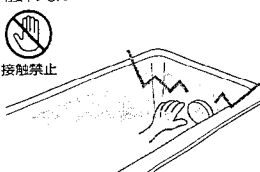
■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する



■燃えやすいものとは離す（屋内式の場合）



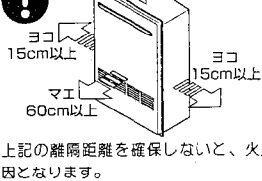
■高温差し湯中は、アダプター付近に触れない（高温差し湯機能のある場合）



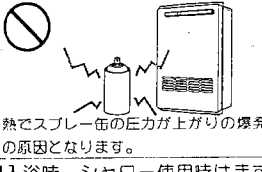
■増改築などにより屋内状態にしない（液抜きなどにより囲いをするもおやめください）（屋外式の場合）



■燃えやすいものとは離す（屋外式の場合）



■スプレー缶を排気口（トップ）の前方に置かない、前方で使用しない



■入浴時、シャワー使用時はまず手で湯温を確認する



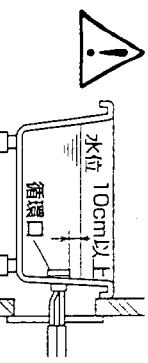
■給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



※混合水栓はレバーを上げた状態で給湯栓「閉」の場合で説明してあります。

注意

■ 追いつきすぎるときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する（追いつき機能のある場合）



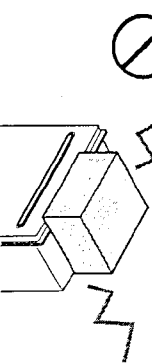
空だきによる火災や、熱源機故障の原因となります。

■ 使用中や消火直後は、排気口（トツ）付近に触れない



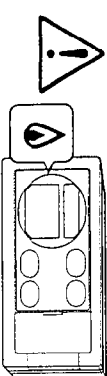
やけどの原因となります。

■ 熱源機の上に乗ったり、物を乗せたりしない



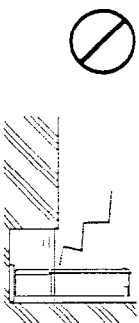
やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

■ 点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示（ランプ）の点灯・消灯を確認する



確認を怠ると、熱源機の異常を早期に見てきなくなりします。

■ 排水の不良などで熱源機が漏水するような状態では使用しない（屋外式の据置形の場合）



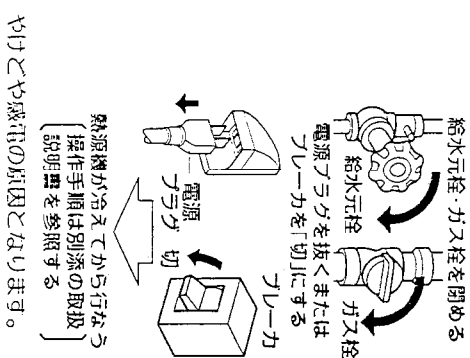
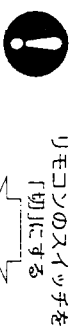
火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。販売店にご相談ください。

■ パネルヒーターの表面は触らない（パネルヒーター使用の場合）



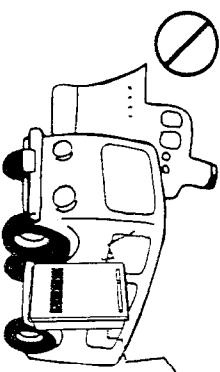
やけどの原因となります。

■ 点検・お手入れはリモコンのスイッチを「切」にし、給水元栓とガス栓を閉め電源プラグを抜いて（またはブレーカーを「切」にして）熱源機が冷えてから行なう



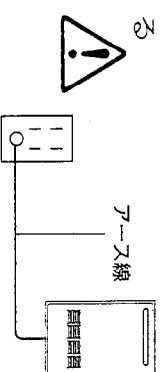
やけどや感電の原因となります。

■ 車両・船舶への設置はしない



振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

■ プラグ接続されていることを確認する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。プラグ接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

■ 屋外に設置しない（屋内式の場合）



炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り熱源機故障の原因となります。

■ 給湯・お湯はり・給湯暖房用として使用する



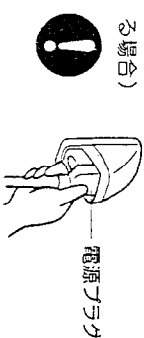
他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

■ お客様ご自身で修理・分解をしない（コントロールカバーを外さない）



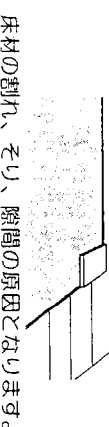
不備が生じた場合、火災や感電・熱源機故障の原因となります。

■ 電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実に行なう（電源プラグがある場合）



コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。

■ 床暖房の上に電気カーペットを敷かない



床材の割れ、そり、隙間の原因となります。カーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない



■ 温水パイプが破損し、温水が噴き出しやけどの原因となります。

■ 床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間すわったり、寝そべったりしない



低温やけどの原因となります。

■ 電源プラグまたはブレーカーはぬれた手で触らない



感電の原因となります。